

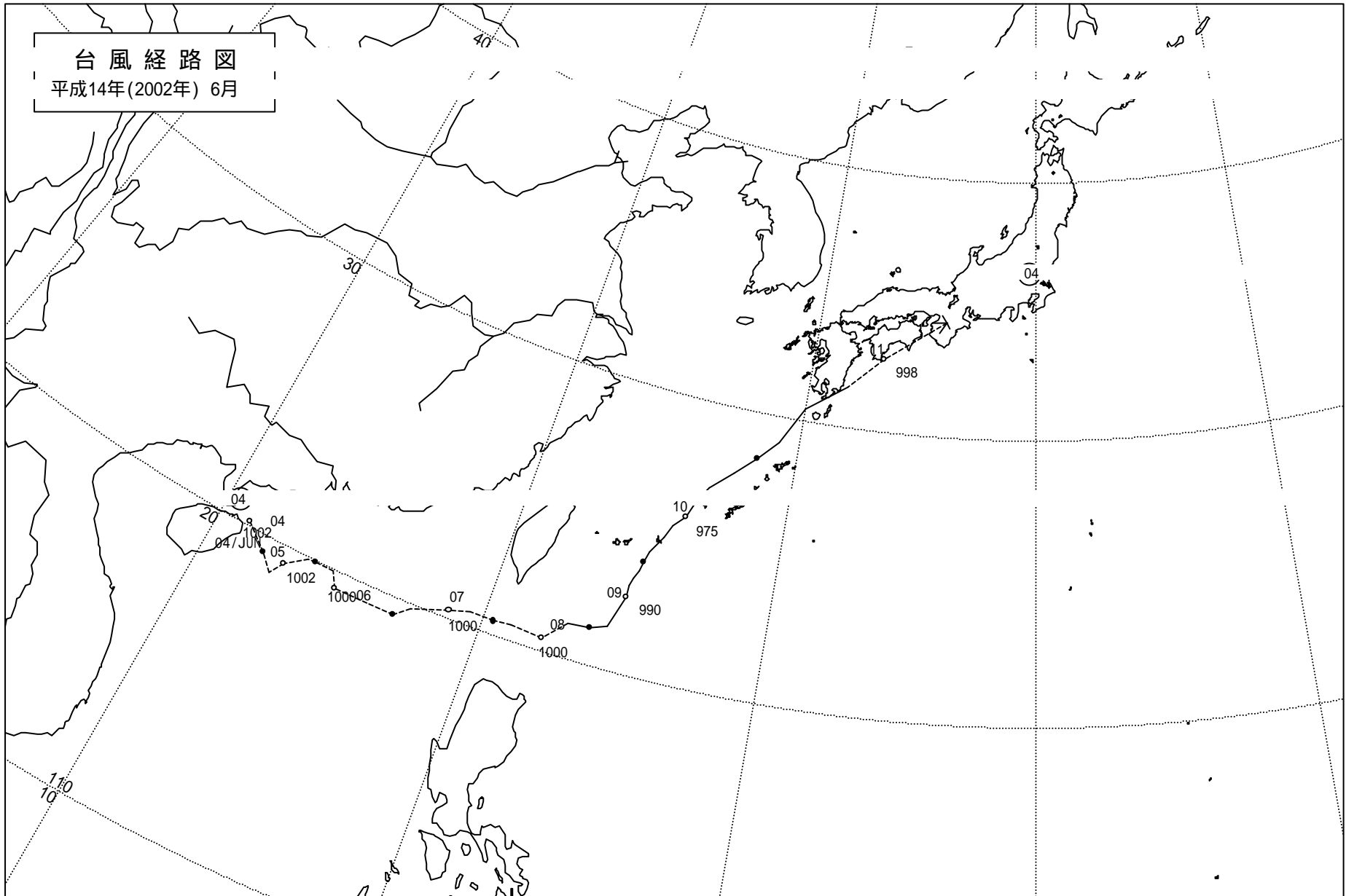
台風第4号の上陸について

気象庁は、台風第4号が本年6月11日に高知県東部（安芸市付近）に上陸したと発表しました。しかし、その後の各種気象資料による詳細な解析の結果、この台風は上陸前にすでに勢力が熱帯低気圧に弱まっていたことが判明しましたのでお知らせします。この結果、台風第4号は「日本本土への上陸台風」ではなくなりました。

気象庁では、事後十分な資料を収集し、時間的な推移を考慮しながら台風の位置や強度を再度詳細に解析し、最終的な確定値を定めています。このような事後の詳細な解析は全ての台風について実施され、今後の台風予報の精度向上に役立てたり統計資料として利用しています。

その結果、台風第4号は四国への上陸前にすでに熱帯低気圧に弱まっていたことが判明したものです。

一方で、速報される台風に関する情報は、できる限り早く提供しなければならず、限られた時間内に収集したデータを用いて勢力の判定を行なわざるを得ません。今回の事例では、台風第4号が高知県東部（安芸市付近）に達した時点では、熱帯低気圧に弱まったと判断するに足る十分な資料が得られなかったため、上陸時には台風であるとの判定を行なったものです。



丸で囲った数字は台風番号である。経路上の 印は傍に記した日の9時、 印は21時の位置で、➤ は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。